

（問 題）

大阪市では、現在、次期大阪市緑の基本計画を検討しているところである。

同計画（案）では、『みどりの将来像の実現をめざすためには、みどりそのものが持つ多様な機能を最大限に高めるとともに、それらを一人ひとりの豊かな都市生活につなげていくことが重要』であると示している。

そして、多様なみどりの創出や保全・機能向上を図る「みどりを“育む”」視点、暮らしの充実や地域の課題解決などに「みどりを“活かす”」視点、及びみどりを“育む・活かす”取組などを通して、みどりとのつながり、ひいては「人と人が“つながる”」視点といった3つの視点から、以下のとおり基本方針を定めている。

【基本方針①】都市を支える健全で快適な「みどり」を“育む”

都市の中で求められる多様なみどりを確保しながら、緑が持つ機能を最大限に発揮できるよう、公園や道路をはじめとする都市内の樹木を丁寧育成し、都市を支える健全で快適なみどりを育む。

【基本方針②】まちの多様な「みどり」を“活かす”

まちの価値向上（暮らしの充実、地域の活性化など）が図られるよう、産・官・学・民がそれぞれの目的やニーズに応じて、まちの多様なみどりを自由な発想で柔軟に活用する。

【基本方針③】人と人が「みどり」で“つながる”

一人ひとりの豊かな都市生活（住む、働く、訪れる）の実現に向け、みどりを“育む・活かす”取組を通して、人々が集い交流し、みどりを中心としたコミュニティ醸成につなげていく。

今後の大阪市公園施策や緑化施策を進めるにあたって、あなたのこれまでの経験を踏まえ、冒頭下線部の3つの視点から1つ選択し、選択した視点から、大阪市の技術職員（造園）として考える課題とその解決策を提案しなさい。（800字程度）